



題字は栗山流祖

発行
〒760-0071
高松市藤塚町2丁目
10-15
臥風流吟詠会本部
事務局

新春に思う

会長 徳田 寿風



新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様には、ご家族お揃いで佳き新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス騒動が始まって以来、三年が経過いたしました。その間、私達はかつて経験したことのない危機に直面し、生活、又、文化活動の制限を余儀なくされました。

しかし昨年は、臥風流吟詠会本部の各種事業が、無事に開催できましたことは、皆様方の心意気と情熱の賜であり、ご協力、ご苦勞に對し、御礼と感謝を申し上げます。

「何となく、今年はいい事ある」とし 元日の朝 晴れて風なし」
—啄木

皆様、今年も健康に留意され、詩吟を一生の趣味として、宝ものとして、楽しく活動して参りましよう。

皆様方の、ご健勝ご多幸を祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

令和五年度 臥風流本部事業計画決定

昨年十二月四日、高松市国分寺会館において、臥風流吟詠会本部常任理事会が開催された。

始めに、徳田会長から挨拶があり、続いて久保田事務局長から令和五年度事業計画(案)の説明があり審議が開始、次のとおり決定された。

令和五年度事業計画

- (1) 常任理事会 4月8日(土)
- (2) 段級審査打合せ 4月8日(土)
- (3) 段級審査会 5月14日(日)
- (4) 師範研修会(1) 5月28日(日)
- (5) 役員総会 6月4日(日)
- (6) 師範研修会(2) 7月17日(月)
- (7) 第41回臥風流吟詠詩舞道大会 9月2日(土)
- (8) 吟士権者決定吟詠大会 10月7日(土)
- (9) 段級別吟詠コンクール 10月7日(土)
- (10) 全員研修会 10月22日(日)
- (11) 師範研修会(3) 11月25日(土)
- (12) 常任理事会 12月2日(土)
- (13) 吟詠発表大会(準師範以上) 令和6年3月24日(日)

【別記】

◎第41回臥風流吟詠剣詩舞道大会

日時 9月2日(土)
会場 高松国分寺ホール
開催要領

- ① 合吟コンクール (5名の部、男女別)
- ② 合吟第一部 自由合吟の部
- ③ 合吟第二部 新準師範 (男・女)

◎全員研修会

日時 10月22日(日)
会場 高松国分寺ホール
開催要領

- ① 令和4年度(段級別コンクール優勝者・吟士権者)
- ② 令和4年度・5年度(師範合格者)
- ③ 令和4年度・5年度(各種県大会及び四国・中国・全国大会優勝者)
- ④ 令和4年度・5年度(合吟コンクール5名の部3位までのチーム)
- ⑤ 吟詠(全国大会優勝者)
- ⑥ 少壮吟士OB吟詠
- ⑦ 東西吟詠合戦





左より 宮本浩風会長、須田鋒風会計部長

「日本の誇」 詩碑参拝

会長 宮本 浩風

桜花爛漫の令和四年四月二日に高松市宮脇町石清尾八幡神社境内に建立の詩碑に、本部事務局長久保田章風氏・会計部長須田鋒風氏の三人で参拝し、臥風流の更なる発展を祈念した。

一昨年からの新型感染症コロナ禍に加えて、吟界も高齢化が進み会員減少の波は容赦なく押し寄せております。会員一人ひとりが愛好者の増加に向けて努力をするよう心掛けましょう。

年一回の昇段試験となる段級審査会が、昨年五月十四日に、高松国分寺ホールと高松市国分寺会館に於いて開催され、114名が受審、2級〜四段まで六階級で55名、5段、準師範、師範補、師範の59名が受審し、合計85名が合格し、六月五日の役員総会に於いて、それぞれ允許状が渡された。

各段級別合格者数は、下表のとおりである。

入会後初となる2級を受審の6名は、緊張の中にも堂々と吟じ全員合格すると共に、成績優秀者1名は一階級上位の1級が允許された。

また、1級、初段、二段を受審の内で成績優秀者には、次のとおりそれぞれ特進が認められた。

〔2級受審で1級允許者〕 1名
寺竹陽菜(英風)

〔1級受審で初段允許者〕 1名
大西佳代子(寿風)

〔初段受審で二段允許者〕 1名

令和4年度 段級審査結果

令和4年度 臥風流段級審査合格者数

実施日：令和4年5月14日

区分	申込者	欠席者	実受審者	合格者	合格率(%)	特進者
2級	6	0	6	6	100.0	1
1級	3	0	3	3	100.0	1
初段	8	1	7	7	100.0	1
二段	17	1	16	16	100.0	2
三段	10	2	8	7	87.5	
四段	11	1	10	9	90.0	
五段	13	0	13	12	92.3	
準師範	13	3	10	6	60.0	
師範補	12	0	12	8	66.6	
師範	21	0	21	11	52.3	
合計	114	8	106	85	80.1	5

〔過去10年間の実績〕

年度	申込者	欠席者	実受審者	合格者	合格率(%)	特進者
3年度	132	16	116	89	76.7	6
2年度	172	0	172	172	100.0	0
元年度	179	13	166	134	80.7	10
30年度	192	10	182	146	80.2	10
29年度	216	12	204	169	82.8	12
28年度	225	16	209	177	84.7	12
27年度	265	19	246	204	82.9	14
26年度	282	18	264	218	82.6	17
25年度	301	19	282	228	80.9	16
24年度	332	14	318	268	84.3	18

楠尾由美(あゆみ)
〔二段受審で三段允許者〕 2名
 山野緑(あゆみ)、佐藤明(鶴尾)

出吟順

〔三段合格者雅号付与〕
 今回、二段に合格された7名と特進の2名の方々には、「臥」の付く雅号が付与されました。また、師範に合格の11名には「風」の付く雅号が付与され、指導者として

の地位を確固たるものにした。

〔師範合格者と雅号付与〕 11名
 香川順・順風(寿風) 大森正・正風
 (三観) 國井陽子・陽風(鶴尾) 安田
 美都子・美風(鷺山) 植田善生・善
 風(鷺山) 山下昭夫・昭風(長尾) 黒
 川謙司・謙風(香南町) 三好美也子・
 杏風(簡保) 大西克美・克風(白鳥)
 佐藤秀彦・秀風(三友) 橋本真希・
 真風(孝風)

臥風流吟詠会 本部役員総会開催す

昨年六月五日、ホテルマリンプレスさぬき2階瀬戸の間に於いて、115名の役員中、43名の委任状、66名が出席して盛大に開催された。

午後一時開会宣言の後、宮本浩風会長の挨拶があり、議長団に香西広風(三木町)定國伯風(英風)両氏を選出し議事が進められた。



開会の挨拶をする
宮本浩風会長



香西 広風 定國 伯風
議長団の挨拶

第一号議案に、令和三年度事業報告が上程され、久保田事務局長より各種事業の報告が行われた。

第二号議案に、令和三年度会計決算報告が上程され、須田会計部長より収支報告が詳細に行われた。

(別表四頁)
その後、大西晃風、大路幸風監事より会計監査報告があり、その内容は全て適正である。と報告された。

第三号議案は、令和四年度事業計画案が事務局より提案された。

- (1) 常任理事会 4月9日(土)
- (2) 段級審査打合せ 4月9日(土)
- (3) 段級審査会 5月14日(土)
- (4) 全員研修会 5月28日(土)
- (5) 役員総会 6月5日(日)
- (6) 師範研修会(1) 7月16日(土)
- (7) 第40回臥風流吟詠舞道大会 9月4日(日)
- (8) 吟士権者決定吟詠大会 10月2日(日)
- (9) 段級別吟詠コンクール 10月2日(日)
- (10) 師範研修会(2) 11月19日(土)
- (11) 常任理事会 12月3日(土)
- (12) 吟詠発表大会【準師範以上】

3月26日(日)

◎本部関連事業

- ① 漢詩同好会活動 月一回程度
 - ② 郊外研修会 各ブロック別を実施
- 引き続き、第四号議案の予算案(別表四頁)が会計部長から提案され承認された。

ここで、本部顧問前参議院議員木村義雄先生より、臥風流の益々の発展を祈念しますとの祝辞を頂きました。



木村義雄顧問より
祝辞をいただく

第五号議案の臥風流吟詠会本部規約の一部改正では、会員の高齢化に伴い役員の任期、審査員資格基準の年齢を83歳までとし、了承された。

第六号議案の役員改選について、事務局より提案説明があり、1部氏名の訂正があったものの、提案どおりで承認された。

(別表五頁改選後)
第七号議案その他では

(1) 脱会

No.66 屋島新浜吟詠会

3・4・30付(小林良生)

No.57 亀鶴吟詠会

3・8・31付(谷口智寿子)

No.81 財田吟詠会

3・12・1付(大西章博)

(2) 会員の推移

三年度は472名、56名の減少。

(3) 臥風流ホームページ

アクセスログ日別

(平成30年10月22日〜令和4年3月31日)

訪問者	3,798
訪問数	4,600
ページビュー数	14,968
問合せ数	1

最後に徳田寿風臥風流新会長より就任と、これからの臥風流についての挨拶があり役員総会が終了した。



徳田寿風新会長
挨拶

令和3年度会計報告書

自 令和3年4月1日～至 令和4年3月31日

単位:円

収入の部		
令和3年度各大会会場費他費用 仮払戻入		436,136
本部会費(一般) 472名		1,416,000
準師範以上会費(特別) 353名		1,765,000
教本収益金		567,000
允許料		1,233,000
香川県総連より用品使用料等		65,175
令和4年度段級審査会 受審料仮受		369,000
小計		5,851,311
前年度繰越金		5,561,616
合計		11,412,927

支出の部		
令和3年度段級審査会受審料 仮受払出		424,000
段級審査会費		127,954
全員研修会費		0
役員総会費		0
吟剣詩舞道大会費		23,036
段級別コンクール費		105,588
吟士権者決定大会費		112,849
新春吟剣詩舞道大会費		0
吟詠発表大会費		-111,818
準師範以上研修会費		413,346
同好会活動費		28,880
常任理事会・執行部会費		38,228
役員名簿印刷費		203,500
臥風流だより発行費		340,980
広報費		179,200
幼少年活動費		31,625
教本発行費(4年度版)		187,500
各種通知文等印刷費		209,560
慶弔費		178,850
コロナ対策費		855,461
本部運営費		1,303,879
・事務所 家賃		(427,645)
・事務所 コピー機維持費		(184,680)
・事務所 雑費		(169,425)
・会長活動費		(120,000)
・事務局・会計・事務費		(160,000)
・通信・郵送料		(242,129)
令和4年度各大会会場費他 費用仮払		512,621
小計		5,165,239
次年度繰越金		6,247,688
合計		11,412,927

令和4年度会計予算書

自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日

単位:千円

収入の部		
令和4年度各大会会場費他 仮払戻入		459
本部会費(一般) 430名		1,290
準師範以上会費(特別) 360名		1,600
令和5年度版教本・和歌教本 収益金		1,100
允許料		650
香川県総連より用品使用料等		50
令和5年度段級審査会 受審料仮受		330
小計		5,479
前年度繰越金		6,248
合計		11,727

支出の部		
令和4年度段級審査会受審料 仮受払出		369
段級審査会費		140
全員研修会費		110
役員総会費		350
吟剣詩舞道大会費		0
段級別コンクール費		0
吟士権者決定大会費		0
新春吟剣詩舞道大会費		0
吟詠発表大会費		0
準師範以上研修会費		400
同好会活動費		50
常任理事会費・執行部会費		40
役員名簿印刷費		200
臥風流だより発行費		350
広報費		200
幼少年活動費		80
令和5年度版教本・和歌教本 発行費		360
各種通知文等印刷費		200
慶弔費		180
コロナ対策費		200
本部運営費		1,328
・事務所 家賃		(428)
・事務所 コピー機維持費		(190)
・事務所 雑費		(200)
・会長活動費		(120)
・事務局・会計事務費		(160)
・通信・郵送料		(230)
令和5年度段級審査会他 費用仮払		460
小計		5,017
次年度繰越金		6,710
合計		11,727

本部役員 (令和4年度改選) [任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日] (赤字は新任者)

名誉会長 宮本 浩風 会長 徳田 寿風 元老 松下 真風 水鳥 翔風 南原 孝風
顧問 木村 義雄 副会長 大森 英風 横山 公風 山本 鷲風 松下 功風 須田 鋒風

業務区分	責任者(部長・次長)	常任理事	本部理事
事務局	久保田章風(満濃) 次長 荒木 法風(寿風) 松川 天風(四電)	佐々木誠風(寿風) 飯田 将風(春日) 野田 湘風(本山)	片岡 秀風(寿風) 寺嶋 清風(満濃)
段級審査	香西 広風(三町) 次長 前原 洋風(簡保) 定國 伯風(英風)	山地 修風(三溪) 児島 節風(木太中) 堀合 健風(鶴尾) 小田 孝風(寿風)	山本 錦風(満濃) 増田 海風(綾南) 金光 藤風(寿風)
コンクール	堀井 勲風(津田) 次長 小竹 勲風(玉藻) 倉元 豊風(志度)	大西 讓風(鷲山) 山地 信風(山本) 横田 香風(綾南) 植松 幸風(寿風)	池田 淑風(英風) 岩田 雅風(桑山) 坂東 恵風(英風)
吟剣詩舞道大会 (記念大会) (新春大会)	松原 綾風(寿風) 次長 安藤 鶴風(鶴風) 山本 貴風(満濃)	生西 輝風(下笠居) 尾松 隆風(綾南陽) 橋崎 圭風(飯山) 吉中 緑風(寿風) 鈴木 幹風(寿風)	宮本 舟風(寿風) 東原 妃風(寿風)
研修	横山 公風(綾南) 次長 [大森 英風](英風) 富田 康風(誠風) 草薙 賢風(寿風)	川田 美風(仏生山) 田中 光風(英風) 中村 江風(石清尾) 伏見 絃風(寿風)	蓮井 鶴風(三友) 堀田 賀風(満濃) 住田 春風(英風) 岸下 煌風(仏生山) 大野 香風(金蘭) 森本 恵風(満濃)
幼少年	大森 英風(英風) 次長 藤井 悠風(悠風)	森 賀風(英風) 水鳥 咲風(鶴尾)	廣瀬 恵風(英風) 浜崎 翠風(英風) 青木 純風(孝風)
普及	玉木 浩風(長尾) 次長 鎌田 鵬風(信風)	浅井 延風(寿風) 片山 辰風(英風)	田辺 磊風(あゆみ) 松村 清風(長尾)
会計	佐々木政風(牟礼) 次長 木村 紅風(玉藻)	久保 仁風(玉藻)	古賀 臥隆(英風)
監事	大西 昊風(四電)	大路 幸風(寿風)	
相談役	濱野 敏風(洋風) 伊丹 敏風(ちぎり) 久保 草風(四電)	井上 喜風(昇風) 西田 緑風(本山) 鍛冶田洸風(四電)	田渕 玖風(豊中) 藤川 美風(悠風)
理事	三笠 輝風(金蘭) 鎌田 義風(昇風) 北山 幸風(綾歌) 広瀬 寧風(庵治) 高嶋 睦風(睦風) 木村 詩風(吟和) 中山 京風(溪風) 小仙 聰風(鷲山) 三木 節風(妙香) 山下 菊風(香南町) 矢野 恵風(梟友) 関 羨風(豊中) 中筋 信風(大和) 三好 昌風(ちぎり) 小河 聖風(悠風) 橋本 京風(高吟) 小山 春風(白鳥) 梶川 賢風(青瓦) 森石 臥邦(北浦) 鈴木 耿風(大野原) 國方 弘風(寒川) 大西 良風(鶴尾) 寺尾 琳風(常磐) 塩崎 健二(個分寺) 奈良 正風(瑞鳳) 大平 葉風(相愛) 盛田 青風(青山) 寺元 紫風(丹生) 川田 紅風(番町) 石川 司風(母神) 政岡 洋風(洋風) 白川 臥洋(三観)		

臥風流吟詠会本部 審査委員 [任期: 令和4年4月1日~令和6年3月31日]

徳田 寿風(仏生山) 大森 英風(英風) 横山 公風(綾南) 前原 洋風(簡保) 川田 美風(仏生山) 松下 功風(大内)
古本 光風(悠風) 木村 紅風(玉藻) 堀井 勲風(津田) 大西 讓風(鷲山) 安藤 鶴風(鶴風) 香西 広風(三町)
野田 湘風(本山) 山地 修風(三溪) 大野 香風(金蘭) 生西 輝風(下笠居) 久保田章風(満濃) 山本 貴風(満濃)
鍛冶田洸風(四電) 児島 節風(木太中) 池田 弘風(四電) 松原 綾風(寿風) 金光 藤風(寿風) 小田 孝風(寿風)
草薙 賢風(寿風) 中村 江風(石清尾) 玉木 浩風(長尾) 山地 信風(山本) 鈴木 幹風(寿風) 田中 光風(英風)
佐々木政風(牟礼) 土岐 晴風(鷲山) 西崎 雄風(鷲山) 戸田 麗風(鷲山)

徳田会長就任挨拶



会長 徳田 寿風

昨年、六月五日の臥風流吟詠会本部役員総会におきまして、本部会長に推挙されました。身に余る光栄と共に、責任の重大さに心を引き締めております。微力ではございますが、名誉会長宮本浩風先生のご指導を仰ぎながら、職責をはたして行きたいと思っておりますので、会員皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

我が臥風流は、名実共に讃州吟界の第一の名門であり、その偉功は流祖栗山臥風先生以来、脈々と受け継がれております。

今、少子高齢化が進み、更にコロナ禍で拍車が架かり、吟界のみならず、各種文化団体も会員数の激減は免れざる実情でございます。しかしこのような時にこそ、文化芸術の発展が、人々や社会を支え、心を癒し、困難な時代を生き

抜く力を養ってけると確信いたしております。

どうか皆様、人生においてよい趣味に巡り合えたことに感謝し、一緒にこの道を歩いて参りましょう。

臥風流の更なる発展を願い、就任のご挨拶といたします。



令和四年度

臥風流全員研修会

昨年五月二十八日、高松国分寺ホールにて臥風流全員研修会が、三年ぶりに開催され、百九十四名の会員が参加しました。

例年だと懇親会も兼ねて行われるのですが、残念ながらコロナ感染防止のため懇親会は中止となりました。しかし会員全員の懇親の場は絶対に必要だと思えますので、一日も早くコロナが収束する事を願うばかりであります。

徳田寿風大会委員長の開会のごとばに続き、国歌斉唱・臥風流吟詠会詩吟詠がありました。



宮本浩風会長 挨拶

宮本浩風大会会長の挨拶の後、徳田寿風先生が、この度、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会より吟剣詩舞大賞芸術賞を二十二年ぶりに受賞されましたので、受賞の挨拶と続きました。(詳細は23頁)



徳田寿風先生受賞 表彰状と

昨年の公益財団法人日本吟剣詩舞振興会副会長就任に続き、連続のお祝い事であり、我々臥風流会員として誇らしく思います。

研修に入り、最初は宮本浩風会長による臥風流の成り立ちについてのお話がありました。

臥風流は昭和三十四年、栗山臥風先生により高松市の市民学校教養講座として始められ、三十九団体八百三十名から、昭和五十七年には百十団体二千二百五十名となりました。しかし、以降減少が続き現在は六十四団体四百八十九名となっております。

臥風流の吟風は、発音、リズム、迫力、節調に優れており、特に教本は、他流派には見られないとお話でした。

続きまして、徳田寿風副会長による吟詠コンクール審査規定についてのお話がありました。

最初に吟詠コンクール採点表の説明から始まり、次に審査項目と続きました。

審査項目には、まず発声であり音質と発声技術に分けられる。審査のポイント、声の美しさ、品性、洪さであり、裏声やビブラートは良くないとお話でした。

二番目は調和(音程を含む)であり、審査のポイントは、伴奏曲

との調和をしているかを見ているとお話でした。

三番目は発音であり、審査のポイントには、標準アクセント(わたしを含む)及び鼻濁音の正確さをポイントにするとお話でした。

四番目は詩心であり、詩情表現の確かさ、味があるかどうかをポイントとするとお話でした。

五番目は態度であり、舞台マナー、吟詠マナー、社会人としてのエチケットをポイントとするとお話でした。

続きまして、徳田寿風副会長による俳句の研修となりました。

俳句の詠い方については初めてであり、主に陽旋法で作曲されており、「荒海や型」と「閑かさや型」と「朝顔に型」と「自由型」に分けています。しかし俳句によっては陽旋法では合わないものがあり、陰旋法である「夏草や型」があると、話されました。

実際に松尾芭蕉の「荒海や」「閑かさや」「千代女の「朝顔に」松尾芭蕉の「夏草や」与謝蕪村の「春の海」をご指導して頂きました。

続きまして、五月一日に行われ

ました全国吟詠コンクール香川県予選大会で入賞して、七月十日に行われる全国吟詠コンクール四国地区大会に出場する十九名の吟詠が行われました。

少年の部 橋本真希

青年の部 河野ひかり

一般二部 小泉真砂子、木太和代

一般三部 松川吉伸、東原恵、佐々木政彦

一般三部 鈴木幹男、柏野和美

草薙賢三、安藤智津子

児島節、廣瀬恵子

前原洋子、定國浩

飯田芳子、田中加代子

中村利江子、小田孝子

以上の皆様であります。日頃の実力をいかなく発揮され全国大会に進まれんことを期待いたします。

最後に大森英風大会副委員長の閉会の言葉で本日の全員研修会を終えました。



全国吟詠コンクール四国地区大会に出場される皆様

師範研修会開催 (一)

令和四年度第一回目の師範研修会が七月十六日(土)、高松国分寺ホールに於いて、受講者百三十名を迎えて開催された。



横山公風研修部長 挨拶



大森英風先生 講習

最初に、研修部部長の横山公風先生の挨拶が始まり、新型コロナウイルス感染症の第七波が急増中であり、当会の予防対策の趣旨を十分理解して対応して頂きたい。引き続き横山公風先生より、律詩「九月十五夜、曲江」の二題、特に「九月十五夜」については「清楚な感じ

で、悲しく詠う」又、音を確認する。節と言葉を別々に表現すること。次に大森英風先生より「墨水秋夕、児島高德」の律詩二題の指導で、言葉を詰めて詠う。又、鼻濁音にも注意すること。今回も細かく具体的に指導を受け大変勉強になりました。

最後にこの度、全国コンクール四国大会に入賞されました方の吟詠と剣舞の発表がありました。

少年の部、橋本真希(九月十日)、一般二部、東原恵(蘇台覽古)、一般三部、安藤智津子(応制天の橋立)、草薙賢三(書懐)、中村利江子(春暁)、剣舞三部、山地花枝(中庸)

師範研修会開催(二)

コロナ感染者数も終息に近づいてきた感がありましたが、昨年十一月に入り全国的にも増え、香川県も多くなつてきており第八波を心配しながら、感染対策を十分にしました中、令和四年度、第二回師範研修会が十一月十九日(土)に高松国分寺ホールにて、会員百四十五

名(内一般参加者十名)の参加で開催されました。



横山公風研修部長
挨拶



徳田寿風会長
実習

最初に横山公風研修部長の挨拶で始まり、引き続き、徳田寿風会長より挨拶と全国吟詠コンクールの報告の後、さる九月十九日(月)東京・日本教育会館・一ツ橋ホールにおいて、令和四年度、全国吟詠コンクール決勝大会一般三部で優勝された中村利江子さんに、徳田寿風会長より褒賞金が授与され、優勝吟「春暁」が披露され、会場は日本一の吟に魅了されました。なお、中村利江子さんは平成

二十八年一般二部でも優勝されており、二冠達成となりました。



優勝
中村 利江子

引き続き、徳田寿風会長によります令和五年度教本の訂正と、教本の旋律変更等の説明があり、教本の訂正については、お詫びの説明があり、教本の旋律変更等については、今風の旋律に変更されている。伝統を守りながら改革が必要と、例をあげ細かく説明されました。最後の吟詠実習は徳田寿風会長

による令和五年度吟題、律詩「山園小梅」、和歌四首「春過ぎて」「秋来ぬと」「吹く風を」「東海のを」徳田寿風会長の美声による吟詠披露があり、吟の歴史を感じながら作者の思いを理解し吟ずれば、より一層良い吟となると、丁寧でよく分る吟詠実習でありました。今後、会員の皆様方も多数参加頂き、益々レベルアップを図りましょう。

第四十九回 臥風流 段級別コンクール大会

昨年十月二日、高松市国分寺会館に於いて、無級から五段までの会員40名が参加して、三年ぶりに開催された。

各段級別・年齢区分別人賞者は次の通り十七名である。

幼・少年の部で無級だった井下尊凱、井下智燿兩名には2級を允許された。

【幼少年の部】

- 優勝 橋本 百恵(孝風)
- 準優勝 橋本 琴音(孝風)
- 第三位 井下 尊凱(孝風)
- 佳吟賞 井下智燿(孝風)

【第二部】(2級～二段70歳以上)
 優勝 島田 晃男(英風)
 準優勝 中井 宏子(寿風)
 第三位 濱本 貴美子(鶴尾)



優勝 楠尾 由美

【第一部】(2級～二段69歳以下)
 優勝 楠尾 由美(あゆみ)



優勝 橋本 百恵
 準優勝 橋本 琴音
 第三位 井下 尊凱
 佳吟賞 井下 智燿



優勝 五嶋 辰男
 準優勝 上原 孝子

【第三部】(三段～五段69歳以下)
 優勝 五嶋 辰男(下笠居)
 準優勝 上原 孝子(仏生山)



準優勝 中井 宏子



優勝 島田 晃男
 第三位 濱本 貴美子

入賞 鈴木孫衛(孝風)、市原裕子(綾南)
 出吟順

第二十二回
 臥風流吟士権者
 決定吟詠大会

昨年十月二日、高松国分寺ホールに於いて、コロナ禍で二年間の



第三位 篠原 正幸
 優勝 塩田 將展
 準優勝 古賀 良隆

【第四部】(三段～五段70歳以上)
 優勝 塩田 將展(英風)
 準優勝 古賀 良隆(英風)
 第三位 篠原 正幸(本山)
 入賞 山野緑(あゆみ)、佐藤明(鶴尾)
 出吟順



準優勝 木太 和代
 優勝 小泉 眞砂子
 第三位 藤本 由紀子

中止を経て三年ぶりに開催されました。横山公風先生の開会宣言、徳田寿風先生の審査上の注意があり、第一部十四名、第二部五十二名、第三部二十八名で競い合った。準師範以上の競合であり、熱い感動を覚えました。
 成績は次のとおりでした。
 【第一部】(69歳以下)
 優勝 小泉 眞砂子(綾南)
 準優勝 木太 和代(仏生山)
 第三位 藤本 由紀子(寿風)
 入賞 立川正史(寿風)、下川邦雄(山本)
 出吟順

【第二部】(70~79歳)

優勝 細川 節子(志度)

準優勝 山本 初子(満濃)

第三位 西岡 くに子(本山)

入賞 田村裕二(仏生山)、大野

(利勝(寿風)、堀田千賀子(満濃)、

黒島ひとみ(三観)、定國浩(英

風)、小河聖(悠風)、森啓子(綾

南)、浜崎清美(英風)、川田道子

(寿風)、吉中良子(寿風)、植松

幸子(寿風)、植田善生(鷺山)、

大西博子(本山)、國井陽子(鶴

尾)、安田美都子(鷺山) 出吟順



準優勝 山本 初子

優勝 細川 節子

第三位 西岡 くに子

【第三部】(80歳以上)

優勝 柏野 和美(綾南陶)

準優勝 大路 大幸(寿風)

第三位 藤川 美代子(悠風)

入賞 鎌田保(信風)、藤井チナ

コ(悠風)、塩谷捷代(寿風)、小

竹勲(玉藻)、西岡美智代(寿風)、

古川しず子(綾南陶)、庵原修(孝

風) 出吟順



準優勝 大路 大幸

優勝 柏野 和美

第三位 藤川 美代子



第四十回臥風流
吟剣詩舞道大会

宮本浩風 名誉会長就任

徳田寿風 会長 就任 記念

昨年九月四日、コロナ禍のため、二年間中止になっていた臥風流吟剣詩舞道大会が高松国分寺ホールで開催されました。

最初に、開会の挨拶を横山公風先生がされ、今回の大会は、宮本浩風先生の名誉会長就任と徳田寿風先生の会長就任の記念大会であるとの説明がありました。



横山公風先生
開会挨拶

君が代と臥風流吟詠会詩が流れた後、徳田寿風審査委員長からの審査上の注意事項の説明がなされ、十七チームによる合吟コンクールが始まりました。

〔合吟コンクール〕

優勝 寿風吟詠会(男子A)

準優勝 寿風吟詠会(女子B)

第三位 山本吟詠会(男子B)

入賞 英風吟詠会(女子A)、山

本吟詠会(女子)、寿風吟詠会(女

子A)、英風吟詠会(女子B)、寿

風吟詠会(女子C)、英風吟詠会

(男子)、満濃吟詠会 出吟順

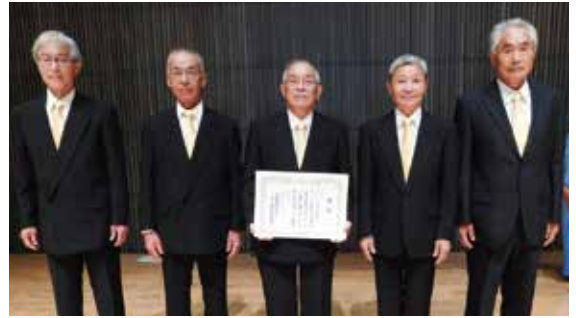


優勝
寿風吟詠会 (男子A)



準優勝
寿風吟詠会(女子B)

九十歳以上の部では、小野臥輝(寿風)、宮崎正風(綾南陶)、青木勝風(下笠居)、富川扇風(綾南陶)、小仙聰風(鷺山)、田中仁風(満濃)の吟詠発表があり、とても御高齢の吟とは思えないほど素晴らしい声に感激しました。



第三位
山本吟詠会(男子B)



90歳以上代表
小仙 聰風



新師範連吟
橋本 真風 國井 陽風

次に、新準師範と新師範の連吟がありました。続いて午前の部最後の表彰式の前に、徳田寿風会長のコロナ禍の中での大大会が速やかに開催された御礼と、会長就任の挨拶がありました。



徳田寿風会長
挨拶

〔長寿表彰〕
〔傘寿の部〕(19名)
山地修風(三溪)、中山俊風(四電)、堀合健風(鶴尾)、西岡美風(寿風)、宮本妙風(綾南陶)、溝川将風(孝風)、倉本豊風(志度)、丸子錦風(仏生山)、伏見紘風(寿風)、永井恵風(寿風)、須崎裕風(鷺山)、飯田将風(春日)、大野忠風(坂出昇風)、塩谷溪風(寿風)、原健風(鷺山)、竹本藤風(簡保)、安田枝風(鷺山)、高畑臥代(仏生山)、白川臥洋(三観)



宮本浩風名誉会長に
徳田寿風会長より花束贈呈

〔特別功労者表彰〕 宮本浩風先生



米寿代表
福家 和風

〔米寿の部〕(6名)
福家和風(綾南陶)、長尾久風(金蘭)、和田仁風(寿風)、河合博風(寿風)、山下弘風(鷺山)、中村良風(寿風)



傘寿代表
山地 修風



幼少年部出場者

昼食休憩の後、合吟(自由の部)十八チームが出演、次に幼少年部が大森英風先生の下、『日本の名山を詠う』を題にナレーション入りで立山を望む、富士山、石鎚山を英語、中国語、剣舞を交えて熱演されました。



全国吟剣詩舞コンクール決勝大会出場者

その後、剣詩舞・吟詠が十五番あり続いて全国吟剣詩舞コンクール決勝大会出場者、橋本真風・東原妃風・池田弘風・安藤鶴風・草薙賢風・中村江風六名の吟詠と山地靈秀の剣舞の発表がありました。

プログラムの最後の総観・大師範の連吟十六番で全てが終わり大森英風先生の閉会挨拶で終了しました。

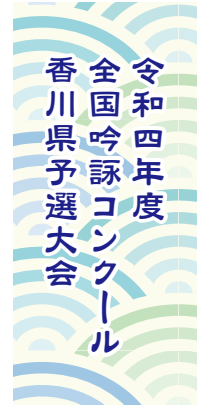


松下 真風

宮本 浩風



徳田 寿風



昨年五月一日、高松国分寺ホールに於いて、香川県下の各流派からの精鋭が集まり盛大に開催され、七月十日高知県立美術館ホールで開催予定の四国地区予選大会への出場者四十名が選抜された。

臥風流会員の成績は次のとおり。
○印は、四国大会へ出場予定者。

〔少年の部〕

準優勝 ○橋本 真希(孝風)

第三位 ○寺竹 彩結(英風)

〔青年の部〕

優勝 ○河野 ひかり(英風)



優勝
河野ひかり

〔一般一部〕

佳吟賞 飯村明子(英風)

〔一般二部〕

優勝 ○東原 恵(寿風)

準優勝 ○松川 吉伸(四電)

第三位 ○佐々木 政彦(牟礼)

入賞 ○小泉真砂子(綾南)、○木

太和代(仏生山) 出吟順

佳吟賞 直井郁子(洗風)



第三位 佐々木 政彦
準優勝 松川 吉伸
優勝 東原 恵

〔一般三部〕

優勝 ○中村 利江子(石清尾)

入賞 ○鈴木幹男(寿風)、○柏野

和美(綾南陶)、○草薙賢三(寿風)、

○安藤智津子(鶴風)、○山本貴

子(満濃)、○児島節(木太中)、○

廣瀬恵子(英風)、○前原洋子(簡

保)、○定國浩(英風)、細川節子

(志度)、○飯田芳子(春日)、○

田中加代子(英風)、○小田孝子

(寿風)、○池田弘隆(四電)

出吟順

佳吟賞 玉川壽美子(志度)、鍛冶

田智育(四電)、古川しず子(綾南

陶)、清川芳助(寿風)、鈴木利明

(大野原)、大路大幸(寿風)、坂東

恵美子(英風)、塩谷捷代(寿風)、

鈴木サツキ(鶴風)、大西節子(山

本)、吉中良子(寿風)、西岡くに

子(本山)、塩田将展(英風)、植松

幸子(寿風)、黒島ひとみ(三観)、

溝川将文(孝風)、浅井能延(寿風)、

宮武明美(本山)、久保仁(玉藻)

出吟順



優勝
中村 利江子



昨年七月十日、高知県立美術館ホールに於いて開催。四国四県か

ら選抜された幼年から一般三部ま

での百四十名の内、臥風流から六

名が来る九月十九日の東京日本教

育会館・一ツ橋ホールで開催する

全国決勝大会に出吟することにな

りました。ご健闘をお祈りいたし

ます。

○印は、全国大会出場予定者。

〔少年の部〕

優勝 ○橋本 真希(孝風)

佳吟賞 寺竹彩結(英風)

〔青年の部〕

準優勝 河野 ひかり(英風)

〔一般二部〕

第三位 ○東原 恵(寿風)

佳吟賞 小泉真砂子(綾南)、松川

吉伸(四電)、佐々木政彦(牟礼)、

木太和代(仏生山) 出吟順

〔一般三部〕

優勝 ○中村 利江子(石清尾)

準優勝 ○草薙 賢三(寿風)

第三位 ○安藤 智津子(鶴風)

入賞 ○池田弘隆(四電)

佳吟賞 鈴木幹男(寿風)、児島節

(木太中)、山本貴子(満濃)、廣瀬

恵子(英風) 出吟順



中村利江子さん優勝!
令和四年度全国吟詠コンクール
決勝大会(一般三部)

昨年九月十九日、東京日本教育
 会館・一ツ橋ホールに於いて、百
 二十五名がエントリーして開催。
 香川県勢は八名、その内臥風流
 からは次の六名が挑戦しました。

- 少年の部 橋本 真希
- 一般二部 東原 恵
- 一般三部 草薙 賢三
- 安藤 智津子
- 中村 利江子
- 池田 弘隆

開会の辞に始まり、幼年、青年、
 少年、一般一部、一般三部、一般
 二部と熱吟は続き、我が臥風流の
 面々も、それぞれ個性を發揮して
 朗々と詠い上げました。結果は、

- 【一般二部】
- 第四位 東原 恵

【一般三部】

- 優勝 中村 利江子
 - 第六位 草薙 賢三
- と三名が上位入賞を果たし、見事
 なものでした。

中村利江子さんは、平成二十八
 年度第二部優勝、今回第三部優勝
 で二冠。お見事!!

令和四年度
全国吟詠コンクール一般三部
優勝杯を頂いて



石清尾吟詠会

中村 利江子

昨年九月十九
 日、日本教育会
 館・一ツ橋ホー

ルに於いて、決勝大会が開催され
 ました。

前日よりの台風到来という悪天
 候で、会場に到着することが一番
 の課題でした。

六年前の二部優勝から七十歳を
 迎え、再度、挑戦を始めたものの、
 体力と声の衰え、また、二部優勝
 のプレッシャー等もありました。
 その様な中、審査規定の発声、調
 和、発音、詩心、態度の基本稽古
 など、初心に戻り、繰り返し稽古
 に励みました。

今回の吟題「春暁」では特に詩
 心を重視し、詩の表現を如何に体
 得すればよいかなど、日々苦しい
 ました。

決勝大会当日は、『今まで一生懸
 命努力を続けてきたのだから』と、
 自分自身に言い聞かせて、マイク
 の前に進みました。会場の雰囲気は
 凛とした緊張感と熱気に包まれ、
 それに押し潰されそうになりました
 たが、会場の応援の方々のお顔を
 拝見し、心を和めることができま
 した。皆様には本当に感謝してお
 ります。

最後になりましたが、こうして
 全国大会で、二冠達成する事が出
 来たのも、家族や友人、大勢の詩
 吟の仲間、そして、ご指導頂いた
 先生方のお陰と心より感謝申し上
 げます。

詩吟は、今の私にとって一番熱
 心に取り組んできたものです。こ
 の様な結果を残すことが出来、満
 足感と達成感を実感し、頑張っ
 てきて良かったとつくづく思っ
 てお
 ります。

今後は、挑戦する事も大切に
 しながら、趣味の一つとして詩吟

間の方々と楽しく向き合って行く
 事が出来ればと思っております。
 本当にありがとうございます。



10月28日
 高松市長表敬訪問



後列 徳田寿風会長、鍛冶田洗風相談役
 前列 大西秀人高松市長、中村利江子さん



優勝 中村利江子

予告

全国吟詠コンクール香川県予選大会
令和五年四月二十九日 国分寺
全国吟詠コンクール四国地区大会
令和五年七月九日 愛媛県
全国吟詠コンクール決勝大会
令和五年九月十八日 東京都

令和四年度
全国剣詩舞コンクール
香川県予選大会

昨年五月二十二日、高松国分寺ホールに於いて、六十名がエントリーして、香川県予選大会が開催された。臥風流会員も出演し、次の三名(〇印)が、七月三日徳島県で開催する四国地区大会に駒を進めた。と同時に入賞者(過去に

優勝経験は除く)は、七月二十四日三豊市で開催する香川県吟詠剣詩舞選手権大会に選抜された。ご健闘を祈る!

【剣舞・一般三部】

優勝 〇山地 花枝(三溪)
準優勝 〇倉元 豊(志度)
第三位 〇井上 良一(綾南陶)
入賞 大野香代子(金蘭)、定國

美知子(英風) 出演順

【詩舞・一般三部】

入賞 米澤都子(草風)、須田弘子(草風) 出演順

令和四年度
全国剣詩舞コンクール
四国地区大会

昨年七月三日、徳島県板野郡板野町のさくらホールに於いて、四国地区大会が開催されました。臥風流会員も出演し、山地花枝さんが、九月十八日東京赤羽会館で開催する全国決勝大会に出演することになりました。ご健闘をお祈りします。〇印は全国大会出演者

【剣舞・一般三部】

優勝 〇山地 花枝(三溪)

令和四年度香川県
吟詠剣詩舞選手権大会



優勝 山地 花枝

昨年七月二十四日、三豊市市民交流センターに、東・中・西讃連盟での予選を勝ちぬかれた百二十八名が参加して県吟詠剣詩舞選手権大会が行われ、各部門の入賞者が決定した。

なお、入賞者(〇印の五名)は、十月十六日善通寺市民会館で開催する四国選手権大会に出場する。(臥風流関係者のみ)

【吟詠二部】(80歳以上)

優勝 鈴木 幹男(寿風)
第三位 柏野 和美(綾南陶)
佳吟賞 三好正幸(綾南陶)、古川しず子(綾南陶)、藤井チナコ(悠風)、鎌田保信風)、小竹勲(玉藻)



優勝 鈴木 幹男
第三位 柏野 和美

藤川美代子(悠風)、堀井勲(津田)、須田邦夫(四電) 出吟順

【剣舞の部】

優勝 〇井上 良一(綾南)
準優勝 大野 香代子(金蘭)



優勝 井上 良一
準優勝 大野 香代子

【吟詠一部】(79歳以下)

優勝 〇東原 恵(寿風)
準優勝 〇佐々木 政彦(牟礼)
第三位 〇池田 弘隆(四電)
第四位 〇山本 貴子(満濃)
佳吟賞 定國浩(英風)、小河聖

に於いて、百三十二名がエントリー

令和四年度 全国剣詩舞コンクール 全国大会

昨年九月十八日、東京赤羽会館



準優勝 佐々木 政彦
優勝 東原 恵
第三位 池田 弘隆

(悠風)、鍛冶田智育(四電)、塩田将展(英風)、片山辰夫(英風)、廣瀬恵子(英風)、久保仁(玉藻)、宮本修(寿風)、下川邦雄(山本)、橋本真希(孝風)、鈴木利明(大野原)、細川節子(志度)、小泉真砂子(綾南)、横田聡(綾南)、直井郁子(洗風)、小田孝子(寿風)、坂東恵美子(英風) 出吟順

ーして開催。臥風流から山地位花枝さんが出演し、健闘したが、惜しくも入賞できなかった。しかし、全力を出したとの力強い言葉に感動しました。

第59回 四国吟詠剣詩舞 選手権大会

昨年十月十六日午後、香川県善通寺市文京町善通寺市民会館に於いて選手権大会が行われました。臥風流会員の成績は次のとおりでした。

【吟詠の部】
優勝 東原 妃風(寿風)
入賞 池田弘風(四電)、佐々木政風(牟礼) 出吟順

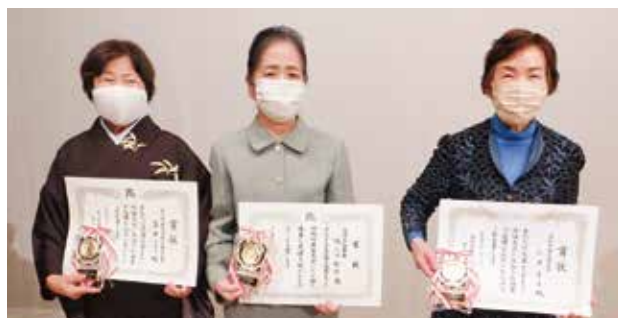


優勝 東原 妃風

昨年十一月十三日、高松市立牟礼図書館コンサートホールにて盛大に開催された。
来賓として高松市創造都市推進局長 小川昌之様の祝辞をいただいた。
百二名が参加し、香川県知事賞・高松市長賞を目指して熱戦を繰り広げられ、各部門の入賞者が決定した。
【第二部】(70歳以上)
優勝 (香川県知事賞) 鍛冶田 智育(四電)
準優勝 (香川県教育長賞) 藤井 チナコ(悠風)
第三位 (高松市議会議長賞) 小田 孝子(寿風)
入賞 定國浩(英風)、藤川美代子(悠風)、溝川鈴子(孝風)、鎌田保(信風)、廣瀬恵子(英風)、國井陽子(鶴尾)、塩田将展(英風)、小林芳子(悠風)、浜崎清美(英風)、大脇昭要(英風)、米澤都

かがわ文化芸術祭二〇二二 高松文芸協会玉藻まつり 吟剣詩舞道大会

子(草風)、森博子(英風)、大野利勝(寿風)、川田道子(寿風) 出吟順



準優勝 藤井チナコ
優勝 鍛冶田智育
第三位 小田 孝子

【第一部】(69歳以下)
優勝 (高松市長賞) 木太 和代(仏生山)
準優勝 (香川県教育長賞) 浦 麻紀(寿風)
第三位 (高松市文芸協会議長賞) 直井 郁子(洗風)
入賞 上原孝子(仏生山)



準優勝 浦 麻紀 優勝 木太 和代 第三位 直井 郁子

日本コロムビア 全国吟詠コンクール 香川地区予選大会

昨年九月二十三日(金・祝)、高松市のホテルマリリンパレスさぬきに於いて、第五十八回香川地区予選大会が開催されました。第三部(第五部に九十八名がエントリー)して全国大会出場を競いました。今年も、若い世代の方が少ない大会となりましたが、吟詠時間も二分で、皆様の力強い吟が聴かれました。

コロムビア伴奏の尺八に戸惑うと言う方もありますが、尺八伴奏は、ご自分の声、節調が自由に活かせて、とても新鮮です。

審査員には、日本コロムビア吟詠音楽会副会長平賀輝山先生(広島)、理事渡邊皇洲先生(福井)、理事八代光晃子先生(宮崎)の三人の先生方をお迎えし、厳正な審査が行われました。

その結果、小豆島撰南流一名、臥風流二名。第三部鍛冶田智育さん、第四部山本貴子さんが、十二月四日中野サンプラザホールで行われる全国決選大会に駒を進めました。全国決選大会では、ご自分の力を十分に発揮されますようお願いいたしております。

各部門の成績は、次のとおり (○印は全国決選大会出場者)

【第三部】

(一般の部51歳〜75歳)

準優勝○鍛冶田 智育(四電)

第三位 久保 仁(玉藻)

入賞 納田恭子(英風)、立川正史(寿風)、住田春美(英風)、木太和代(仏生山)、藤田美貴子(鶴風)、横田聡(綾南)、國井陽子(鶴

尾)、大西博子(本山)、長谷川美喜子(山本)、西岡くに子(本山)、佐々木政彦(牟礼)、森博子(英風)、大西節子(山本)、片山辰夫(英風)、松川吉伸(四電)、橋崎圭子(飯山)、黒島ひとみ(三観)、玉木一浩(長尾) 出吟順



第三位 久保 仁

【第四部】(一般の部76歳以上)

優勝○山本 貴子(満濃)

準優勝 鈴木 利明(大野原)

第三位 村主 房子(寿風)

敢闘賞 玉川 壽美子(志度)

入賞 大野利勝(寿風)、小田孝子(寿風)、藤井チナコ(悠風)、三野波留子(牟礼)、田中啓子(寿風)、萱原美千子(綾南陶)、藤川美代子(悠風)、山地花枝(三溪)、塩谷捷代(寿風)、古川しず子(綾南陶)、庵原修(孝風)、篠原正幸(本山)、赤松徳子(相愛)、柏野和美(綾南陶)、堀井勲(津田)、鎌田保(信風) 出吟順

努力賞 三好 昌子(ちきり)



敢闘賞 玉川 壽美子 第三位 村主 房子 準優勝 鈴木 利明

【第五部】

(短歌・俳句・新体詩の部)

優勝 松川 吉伸(四電)

準優勝 鍛冶田 智育(四電)



準優勝 鍛冶田 智育 優勝 松川 吉伸

また、大会運営には、今年度は、臥風流コロナ対策委員、ホテルマリンパレスさぬきの皆様にご協力をいただき、徳田寿風大会実行委員長始めコロムビア吟音会員と臥風流会員有志の皆様があたり、大会を盛り上げました。



八代光晃子先生、第四部優勝 山本貴子、平賀輝山先生、
第三部準優勝 鍛冶田智育、渡邊皇洲先生

なお、令和五年度のコロムビア香川地区予選会は、九月十日(日)を予定しております。

第五十八回日本コロムビア全国吟詠コンクール決勝大会。全国名流大会に参加して

香川県事務局 安藤 鶴風

昨年十二月四日、東京中野サンプラザに於いて、全国から125名が競い合いました。

香川県代表として臥風流2名を含む3名が出場しました。

臥風流2名の方も、しっかりと詠われたが、今一步及びませんでした。でも、お二方とも、ご自分の力を思う存分發揮されたと思われました。

午後は、コロムビア吟音会員による構成吟「平山郁夫とシルクロード名詩への誘い」、「華麗なる吟と舞」、「紅白剣詩舞並びに吟詠合戦」などがあり、私も構成吟に参加しました。

なお、全国大会は、東京中野駅周辺の都市開発計画により、サンプラザホールが取り壊されることとなり、今回がサンプラザホールでの最後の舞台となるので、吟音会員も多数参加し、榊原舞踊団による舞も、尚一層華やかさを増し、

素晴らしい舞台となりました。

そのため、今年の全国大会決勝大会の舞台は、十一月五日大阪メロパルクで開催予定です。

先ず、香川県予選は、九月十日(日)ホテルマリンパレスさぬきで開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

東讃地区だより

通信員 定國 伯風

●香川県吟詠選手権東讃予選大会

6月19日 高松国分寺ホールに於いて、各流派から会員百十五名が参加して予選大会が行われ、七月二十四日の県大会に向けて熱吟が展開され、各部門の入賞者が決定した。

【一般一部】(79歳以下)

優勝 東原 恵(寿風)

準優勝 松川 吉伸(四電)

第三位 池田 弘隆(四電)

入賞 清川芳助(寿風)、森啓子

(綾南)、山本初子(満濃)、森博

子(英風)、國井陽子(鶴尾)、堀

合正健(鶴尾)、塩田将展(英風)、

山本貴子(満濃)、溝川鈴子(孝

風)、小泉眞砂子(綾南)、細川節

子(志度)、宮本修(寿風)、今瀧

幸子(満濃)、玉川壽美子(志度)、

久保仁(玉藻)、定國浩(英風)、

佐々木政彦(牟礼)、浜崎清美(英

風)、橋本真希(孝風)、片山辰夫

(英風)、直井郁子(洸風)、鍛冶

田智育(四電)、山地英文(寿風)、

植松幸子(寿風)、廣瀬恵子(英

風)、藤本由紀子(寿風)、横田聡

(綾南)、坂東恵美子(英風)、小

田孝子(寿風)、小河聖(悠風)

出吟順



第三位 池田 弘隆 優勝 東原 恵 準優勝 松川 吉伸

【一般二部】(80歳以上)

優勝 鈴木 幹男(寿風)

準優勝 藤川 美代子(悠風)

第三位 柏野 和美(綾南陶)

入賞 溝川將文(孝風)、堀川武

夫(英風)、藤井チナコ(悠風)、大

路大幸(寿風)、小竹勲(玉藻)、古

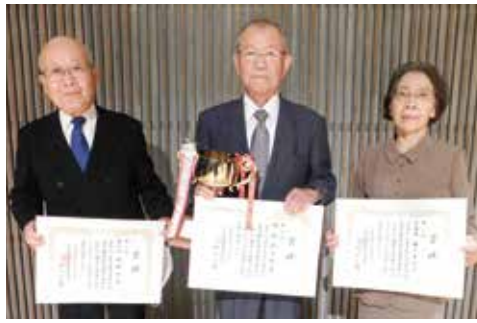
川しず子(綾南陶)、堀井勲(津田)

園田公子(寿風)、大西良昌(鶴尾)

鎌田保信風、三好正幸(綾南陶)、

須田邦夫(四電)、田中啓子(寿風)

出吟順



第三位 柏野 和美

優勝 鈴木 幹男

準優勝 藤川 美代子

定した。

【吟詠第一部】(79歳以下)

準優勝 小泉 眞砂子(綾南)

第三位 木太 和代(仏生山)

入賞 玉川壽美子(志度)、廣瀬

恵子(英風)、大野利勝(寿風)、山

本初子(満濃)、細川節子(志度)、

浅井能延(寿風)、堀田千賀子(満

濃)、森博子(英風)、定國浩(英

風)、立川正史(寿風)、横田聡(綾

南)、坂東恵美子(英風)、青木純子

(孝風)、今瀧幸子(満濃)、宮本

修(寿風)、住田春美(英風)

出吟順



第三位 木太 和代



準優勝 小泉 眞砂子

【吟詠第二部】(80歳以上)

優勝 藤井 チナコ(悠風)

準優勝 堀井 勲(津田)

第三位 河合 博一(寿風)

入賞 園田公子(寿風)、竹本富

子(簡保)、古川しず子(綾南陶)、

須田邦夫(四電)、堀川武夫(英風)、

米澤都子(草風)、大西良昌(鶴尾)

出吟順



第三位 河合 博一

優勝 藤井 チナコ

準優勝 堀井 勲

中讃地区だより

通信員 飯田 將風

●第九回中讃連盟吟士権者決定大

会兼一般交流吟詩舞道大会

4月23日 坂出市勤労福祉センター

で開催。コロナの感染状況は、依

然として「高止まり」の中、吟

詠・詩舞を合わせて、81組の参加

があった。そして、熱戦の結果、

(臥風流の関係者のみ)

【第二部】(70歳以上80歳未満)

入賞 谷本美代子(飯山)、荒井

進(昇風) 出吟順

【第三部】(80歳以上)

優勝 佐々木 新一(溪風)

入賞 鎌田義行(昇風)



優勝 佐々木 新一

●第十八回 中讃班郊外研修会

4月24日 満濃農村環境改善セン

ターで開催。当番の満濃吟詠会

のお世話により、二年ぶりに研修会

が開催された。

受審者は無級から師範までの12

名、指導者吟詠は師範から総師範ま

●東讃連盟寿吟剣詩舞道大会
8月21日 高松国分寺ホールに於
いて、競吟九十九名、自由吟五
名、剣詩舞十九名が参加して、残
暑厳しい折りではあったが熱演が
展開され、吟詠部門の入賞者が決

での33名、そして剣詩舞12名の総数57名の参加を得て実施された。

受審者には、5名のアドバイザーの先生方から指導メモを受け取り、5月14日の本番に向けて参考練習をお願いした。

そして指導者吟詠と少年を交じえた剣詩舞で華を添えて閉会した。

●香川県吟詠選手権

中讃地区予選大会

6月5日 坂出市勤労福祉センターで開催。第一部から第三部までの37名が参加して中讃地区予選大会が行われ、各部門から27名の入賞者が決定した。

(臥風流関係者のみ)

【第二部】(79歳以下)

入賞 御厨敏江(春日)、荒井進(昇風) 出吟順

【第三部】(80歳以上)

入賞 鎌田義行(昇風)、大野忠由(昇風)、中山和子(溪風) 出吟順

●第十二回中讃連盟

吟詠剣詩舞道祭

8月24日 坂出市民ホールにて、改修工事が終り三年ぶり盛大に開催された。コロナ禍にもかか

わらず各流派から、絶句・剣詩舞・吟士交流の舞・律詩・歌謡吟詠そして、八月十一日に催された「吟詠剣詩舞道サマーフェスティバル」の再演など多彩で、プロ番号百一番の参加と大盛況であった。

最後は、会員お楽しみみの来賓吟士先生の構成吟詠。

☆コロナ禍 つれづれなるままに



大森英風先生



徳田寿風先生

☆奥の細道 ～芭蕉紀行～

お二方の迫力溢れる圧巻の舞台に余韻を残しながら閉会した。

●第三十四回中讃連盟

律詩吟詠剣詩舞道大会

11月27日 坂出市勤労福祉センターに於いて開催。近年会員の高齢化が進む中、本大会も70歳以上が大半を占めたが、独吟・連吟・吟詠歌謡そして剣詩舞と健在ぶりを見せつけられた。まだまだ頑張られると元気をもらった大会でもあった。

今後は、高齢の会員が気楽に楽しく参加できる大会の創意工夫が重要と思われる。また、参加人数の減少の歯止めにもつながるのでは…

西讃地区だより

通信員 安藤 鶴風

2月23日 西讃連盟常任理事会が、観音寺市立大野原図書館音楽室で開催。新執行部になり、コロナ禍に振り回された二年間だったのが、長年の西讃連盟の改善点も見えてきました。

3月27日 西讃連盟審査員研修会を、三豊市仁尾町文化会館で開催。モデル吟士(8名)の吟詠を基に、審査員の研修・勉強会を实

施。課題が見え、多くの意見・疑問点等も出て、改善の余地あり。
4月2日 第43回西讃連盟定期総会が、三豊市豊中町農村環境改善センターで開催。議事後、サマーフェスティバルの件は、申込多数あり。

4月24日 西讃連盟優賞者決定大会が、三豊市市民交流センターで開催。決定大会後、一般吟詠。受審者十名内臥風流入賞者三名。

6月3日 執行部会が三豊市豊中町農村環境改善センターで開催。サマーフェスティバル合同練習日を決める。西讃の流派と詩舞の会を含め総勢四十五名申込。

6月11日 香川県吟詠剣詩舞道選手権西讃予選大会が、三豊市市民交流センターで開催。入賞者二十六名内臥風流十一名の方が、決戦大会の出場権を手にした。

【80歳以上の部】

宮武明美(本山)

【79歳以下の部】

鈴木利明(大野原)、黒島ひとみ(三観)、西岡くに子(本山)、藤田美貴子(鶴風)、長谷川美喜子(山本)、篠原正幸(本山)、下川邦雄(山本)、

鈴木サツキ(鶴風)、大西節子(山本)、藤田敏雄(鶴風)

7月4日、8月11日 サマーフェスティバル合同練習を三豊市豊中町農村環境改善センターで開催。各会派で練習後、合同練習(四回)をする。日頃会う事のない各流派の方達が、日を重ねる毎に楽しんでそうに言葉を交わして、練習する。中には、合吟は初めて、仕方

を知らない会の方もいて驚いた。最終日には、思わず拍手が起き、全員笑顔となり、西讃連盟が一つになった!! サマーフェスティバルに感謝です。

8月11日 穴吹学園でのサマーフェスティバルに参加。練習の時以上に前を向き、揃って歩き、声も良く出ていた。会場の方達にも誉めて頂き、各流派の方も「気持ちよく出来た。」「西讃連盟が一つになり、行事をすることが初めてで、これからもこのような機会が欲しい」等の声があり、良かった。また、十月二十三日の西讃吟道祭で、もう一度やりたいとの声も上がった。晴風友の会男子二名、女子七名参加。

10月23日 西讃連盟吟剣詩舞道祭が、三豊市市民交流センターで開催。本年の吟道祭は、各流派の合吟は、取り止めるも、八月十一日のサマーフェスティバルと全国合吟出場者とのコーナーを作る。サマーフェスティバルの合吟は、出演者の中から、もう一度再現をと声が出て、このコーナーを作った。他は例年通りとなるも、やはり、最後の徳田寿風先生と大森英風先生のご出演は、西讃の方々が楽しみにしています。ただ、今回は音響の具合が悪く、先生方の時には最悪状態でしたが、お二人の先生は、素晴らしい構成吟を聞かせてくださいました。本当に凄いです。素晴らしい先生方です。

倉敷地区だより

通信員 小仙 聰風

4月17日 岡山県吟士権大会西部地区予選会が児島市市民交流センター(ジーンズホール)にて行われ一般一部で杉村幸風、シニアの部で森康風、片山清風、が入賞。6

月5日に久米南町文化センターの岡山県吟士権大会へ向けて参加。片山清風は体調不良の為、次点の方に譲りました。

4月29日 第四十八回令和四年度総会を児島市市民交流センター視聴覚室にて児島公民館の講座支援を頂いて(Bグループ)「下津井、本荘、福田、児島」各練習会の運営で短歌、絶句、律詩、歌謡吟を二段の方から総範まで力を入れて大きな声で練習の成果を發揮致しました。

5月15日 全国吟詠コンクール岡山県大会が倉敷市児島市市民交流センターにて、一般二部で杉村幸風、一般三部で森康風、片山清風3名が入賞し、7月17日に中国地区大会(広島、安芸区民文化センター)へ。片山清風は一身上の都合で次点の方に譲りました。

7月24日 日本伝統文化吟友会中国地区コンクールが岡山国際交流センターにて鷺山吟詠会の会員より六名の世話役が運営に協力、一般三部で杉村幸風、一般四部で森康風、短歌の部で小仙聰風が入賞。全国大会には届きませんでした。



短歌入賞の小仙聰風

11月13日 第四十九回令和四年度文化祭を児島公民館の援助により交流センター内の視聴覚室にて短歌九題、今回は倉敷市吟道祭出吟の四題稽古を重ね吟じ、絶句・律詩と特に歌謡吟に多く出吟され熱心に歌われました。特に今回は安田美風さん(菊水流)が舞い、「生田に宿す」を小仙聰風が吟を奏で会員皆様に喜んで頂きました。



鷺山吟詠会 令和4年度総会にて

12月4日 倉敷市文

化祭中心行事。特に今年には倉敷市吟剣詩舞道連盟創立六十周年記念大会と倉敷市による三十回の吟剣詩舞道祭を兼ね盛大にこのことで市の教育委員会特に伊東香織市長、西井弘人文化連盟会長、井上游洲岡山県吟剣詩舞道総連盟会長、他多数の関係有識の方のご来場を得ました。

鷺山吟詠会としては合吟に男子「富士山」、女子「菊花」、企画吟男子「富嶽」、女子「子夜呉歌」、を最後に「鷺羽山」でフィナーレとなり、記念すべき一日となりました。



倉敷市吟剣詩舞道連盟文化祭、山本鷺風会長とフィナーレ

夏季吟道大学に参加して

春日吟詠会 飯田 芳風
英風吟詠会 定國 伯風



英風吟詠会 定國 伯風

春日吟詠会 飯田 芳風

にのぞみました。

講義の最初に、沼崎富会長の基本姿勢である、会場への出入りには必ず一礼する様にと、吟剣詩舞道憲章「礼と節」の精神を教えられ、さらに古典芸能の品の良さを認識しました。

(徳田寿風会長が必ずしているお姿が目につかびました。)

夕食後の意見交換会(吟詠の普及振興をめぐって)では、班別に別れ、今、詩吟人口が減少しつつある現状の話し合いが行われ、①学校のクラブ活動に採用を働きかける②大会など諸行事のピーアールを(ユーチューブの活用)地域の行事に積極的に参加することなど、会員ひとり一人が現状を認識して地道な活動を根気よく継続することが、重要であると感じました。

二日目は、演奏家の河野正明先生の「吟詠の発声法」(伴奏との調和研究)では……。

伴奏曲を何度も聞き、覚える。

「前奏を一緒に口ずさむ」これで、マイクの前まで歩く間、声を軽く出すと気持ち落ち着き、安心して吟じ出せる。

コロナ禍で中止となっていました(財)日本吟剣詩舞振興会主催の夏季吟道大学が、四年ぶりに七月十六日(十七日の二日間、愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターに於いて開催されました。全国から三十六名が参加し、香川県からは、臥風流の二名が受講させていただきました。

センターへ着くと、徳田寿風財

団副会長をはじめ、事務局の方々

のお出迎えをうけ、期待と不安、

そして緊張に身を引き締め開講式

音程の本数は、高い方が良いとは限らない。余裕のある無理のない本数で……と、私にとっては、心強く有り難い大変貴重な講義を聞く事が出来ました。

また、印象的だったのは、二日目の朝の「とり舟体操」でした。

「とり舟体操の効力」舟の櫂を漕ぐような形でエイッエイッ

。和歌「敷島の和心を人間わば朝日に匂う山桜花」エイッエイ

ッーと大声で朗読、身体を動かしながらの、発声する事から自然

に、腹筋を使う発声(腹式)になる。正確な音程で発声するための腹筋

の鍛練に最適な方法であることを学び、みんなと、ワイワイ言いながら大笑い、楽しい時間でした。

そして帰宅後、四班の班長さんから集合写真と名簿が届き、会の名前も「絆 清玲会」と名付けられ、折角の出会いを大事に、これ

からも機会を作り、交流を深めていきたいとコメントがあり、大いに楽しみにしております。

今回この夏季吟道大学を受講出来たこと、大変誇りに思い、これからますます「吟剣詩舞道憲章」の

精神「礼と節」を忘れずに、励んでいきたいと思えます。ありがとうございます。



昨年五月五日、東京都北区の北とびあで開催された第五十二回全国吟剣詩舞道大会開会式式典において授賞式が行われました。

徳田寿風先生は、先ず冒頭本大会主催者として白いリボンをつけて開会の辞を述べられました。威

風堂々凛とした声が場内に響き渡ると大きな拍手が沸き起り吟剣

詩舞道大会の幕が切つて落とされました。

式典の最後は吟剣詩舞道大賞の授賞式です。赤いリボンをつけ、先頭で入

場された徳田寿風先生。(他に四名の功労賞受賞者あり)

『吟剣詩舞大賞芸術賞徳田寿風さん』名前を呼ば

れ「はい」と答えて沼崎富会長の前に進み出る姿は優雅で自信に満ちていました。

固く閉ざされていた芸術賞の扉を二十二年ぶりに開いた功績は大きいです。式典が終わるとすぐさま審査委員長として合吟コンク

ール七十二チームの審査員席に着かれました。

吟剣詩舞道界の未来は決して樂觀視できるものではありません。

幾多の困難改革が予想されます。しかし、持ち前の知恵と識見の高

さで乗り切つて行かれるのだろうか。先生の後ろ姿に語り掛け合吟を

傾聴しておりました。

*吟剣詩舞三賞 ①文化賞 ②芸術賞 ③功労賞

*芸術賞は平成十一年度来二十二年ぶりに授与されました。

吟剣詩舞道 サマーフェスティバル

県総連事務局次長 草薙 賢風

昨年八月十一日(祝・山の日)、穴吹学園ホール(旧高松テルサ)において「吟剣詩舞道サマーフェス

ティバル」を開催しました。これは例年六、八月の期間に高松市で

開催されている(高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ)の二

〇二年主催事業へ参加の応募をし、書類審査及びプレゼンテーシ

ョンを経て選定されたものです。香川県吟剣詩舞道総連盟(以下〓

県総連)では執行部会役員により、令和三年十月から実行委員会

を立ち上げ、萱本如泉会長・徳田寿風実行委員長のもと、準備を進めてきました。

「高松市市民文化祭」ということもあり、県総連として出場者は主に「東讃連盟」加盟団体の会

員し、「中讃連盟」「西讃連盟」には賛助出演の部を設けて、自由な

演目での参加をお願いすることにしました。県下一円から吟剣詩舞



の愛好家の方々にご参加をいた
ただ初開催のイベントで
す。出来るだけ多くの方々に
出場していただくこととした
ため、吟詠は合吟・連吟に
し、剣詩舞では地吟による群
舞にしました。やや欲張った
演目にしたこともあり時間が
長すぎたというご意見もあり
ました。また、出場者の客席
への出入りが目立ったとい
う指摘等もあり、種々反省の
感はぬぐえません。

ともあれコロナ禍のなか、
初の会場で初開催のイベント
を無事に終えられたことに安
堵しているのが本音です。出
場者や運営スタッフの大半は
臥風流の方々でした。盛夏の
折、ご協力いただきましたこ
とに厚く御礼申し上げます。

〔追記〕当日の出場者数
東讃二百三十人 中讃三十五
人 西讃四十五人 合計三百
十人



吟剣詩舞道サマーフェスティバル 大会役員の皆様でのフィナーレ

年の初めに

あゆみ吟詠会 樋口 徳風

一等賞
運動会の華になる

樋口 徳子 作

令和五年一月一日、四国新聞の
新年読者文芸・四国柳壇にて兼題
「華」第一席に入選しました。

思いも寄らぬ入選に我が家は騒
然となり、願っても無いようなお
年玉を頂き、嬉しい元旦でした。
認知予防で始めた句づくりです

が、こうして臥風流だよりにまで
掲載していただけるとは誠に恐縮
の至りでございます。臥風流での
吟歴のある娘(美福)も同日四国歌
壇で第三席と勿体無い入選とな
り、残す余生、親子で同じ趣味の
吟と句づくりで精進を誓う年始め
でした。コロナ感染終息と臥風流
吟詠会の皆様様のご健勝と会の発
展をご祈念申し上げます。

令和四年度 新春錬成大会開かる

香川県吟剣詩舞道総連盟

松原 綾風

令和五年一月七日(土)、高松国
分寺ホールに三百余名の参加者の
もと盛大に開催されました。

まず始めは大森英風先生、徳田
寿風先生による令和五年度の指定
吟題解説と吟詠。会場の皆さんは
メモを取りながら熱心に聞き入っ
ており、香川県総連会長萱本如泉
先生からは『過去最高の解説だっ
た』と称賛されました。



香川県総連会長
萱本如泉先生

続いて、徳田寿風先生が『徳川
家康公の御遺訓を読み解く』と題
して今年の大河ドラマを先取りし
てのお話と、徳田先生作譜による
「遺訓」の吟詠発表がありました。

続いては、4年度の全国吟詠コンクール入賞者東原妃風さん、草薙賢風さん、圖子麗麦さん、中村江風さんのご披露吟詠があり、さらに少壮OB両先生の競演があり、最高峰の吟詠を堪能しました。



吟詠競演
大森英風先生



吟詠競演
徳田寿風先生

最後は『新しき年の始の』を小さい声で合唱して閉会となりました。
本日の大会がこれから新吟題に取り組んでいく皆様の一助になればうれしい限りです。



受講者の合唱

会員異動のお知らせ

(敬称略)

(本部役員名簿令和4年1月の各頁を不)

〔脱会〕

11頁 No.59 洋風吟詠会

代表者 政岡 陽子(洋風)

六月一日付 脱会による

〔本部役員研修(常任理事の辞任)〕

2頁 川田 美也子

(美風・仏生山)

六月五日付 体調不良

〔総範の退会〕

22頁 政岡 陽子(洋風・洋風)

六月一日付 脱会による

それに伴い3頁理事辞任

23頁 豊田 佐佐雄(佐風・満濃)

四月二十日付 体調不良

それに伴い3頁理事辞任

〔大師範の退会〕

26頁 秋山 キミ子

(道風・木太中)

六月一日付 体調不良

26頁 濱野 敏行(敏風・洋風)

六月一日付 脱会による

それに伴い2頁相談役辞任

〔師範の退会〕

28頁 山下 菊雄(菊風・香南町)

五月三十一日付 体調不良

28頁 植原 理(理風・木太中)

六月一日付 高齢のため

31頁 富好 和子(和風・相愛)

一月二十七日付 死亡

32頁 丸岡 忠輝(輝風・寿風)

六月三十日付 一身上の都合

35頁 丸田 静雄(静風・白鳥)

六月三十日付 体調不良

36頁 多田羅 貞三(貞風・寿風)

六月三十日付 体調不良

37頁 和木 春義(春風・下笠居)

二月二十一日 死亡

37頁 田邊 勇(勇風・寿風)

五月二十八日付 体調不良

38頁 兼島 喜久子

(喜風・香南町)

三月三十一日付 体調不良

38頁 石原 哲子(哲風・三友)

四月三日付 体調不良

40頁 岡崎 武義(武風・香南町)

三月三十一日付 体調不良

〔師範の休会〕

28頁 織田 一美(菖風・鶴風)

六月一日付 高齢のため

32頁 遠藤 明(青風・仏生山)

七月一日付 体調不良

33頁 増田 勝子(勝風・満濃)

六月三十日付 体調不良

34頁 大嶋 幸子(眺風・あゆみ)

六月二十二日付 体調不良

41頁 松本 叶(響風・鶴尾)

五月十五日付 県外転出

〔準師範の退会〕

43頁 松下 清子(臥清・寿風)

五月二十八日付 体調不良

44頁 西村 武王(臥王・香南町)

五月三十一日付 体調不良

〔代表者・連絡先・指導者等の変更〕

5頁 No.8 下笠居吟詠友の会

指導者 阿部 枝風を追加

10頁 No.47 満濃吟詠会

代表者

12頁 No.68 綾南陶吟詠会

指導者 福家 和風↓柏野 和風

13頁 No.74 三友吟詠会

連絡先 蓮井 田鶴子↓高橋 涉

14頁 No.89 香南町吟詠会

代表者 山下 菊風↓黒川 謙風

連絡先 西村 武王↓黒川 健司

13頁 No.74 三友吟詠会

連絡先 蓮井 田鶴子↓高橋 涉

14頁 No.89 香南町吟詠会

代表者 山下 菊風↓黒川 謙風

連絡先 西村 武王↓黒川 健司

14頁 No.89 香南町吟詠会

代表者 山下 菊風↓黒川 謙風

連絡先 西村 武王↓黒川 健司

14頁 No.89 香南町吟詠会

代表者 山下 菊風↓黒川 謙風

連絡先 西村 武王↓黒川 健司

14頁 No.89 香南町吟詠会

代表者 山下 菊風↓黒川 謙風

連絡先 西村 武王↓黒川 健司

14頁 No.89 香南町吟詠会

代表者 山下 菊風↓黒川 謙風

45頁 寺竹 彩結(臥彩・英風)

1229↓1226

(本部役員名簿令和4年7月の各頁を不)

〔総範の退会〕

24頁 鬼生田 美智子

(吟風・草風)

28頁 小川 長子(長風・三友)

八月七日付 体調不良

28頁 小川 長子(長風・三友)

八月七日付 体調不良

30頁 谷口 智寿子(智風・志度)

八月十八日付 一身上の都合

31頁 和田 和男(仁風・寿風)

十二月三日付 死亡による

33頁 川渕 博子(博風・志度)

八月十八日付 一身上の都合

38頁 西 秀子(秀風・長尾)

七月十五日付 体調不良

〔師範の休会〕

35頁 関口 康子(康風・鷺山)

七月三十一日付 体調不良

〔師範の復帰〕

37頁 4行目に挿入

下出 博司(真風)

七月一日付 寿風吟詠会

連絡先 千七三七〇八二六

広島県呉市両城1-10-20

TEL〇九〇九二一七五二六八

〔代表者・連絡先・指導者等の変更〕

6頁 No.14 仏生山吟詠会

連絡先 岸下 秋子↓木太 和代

千七六一八〇七八

高松市仏生山町甲

245312

14頁 No.83 三観吟詠会

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

会員数の変更は省略します。

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

TEL〇八七七八八九一三三七

代表者 白川 臥洋↓大森 正風

編集後記

昨年は世界的にも国内でも大変なニュースが流れました。ロシアのウクライナ侵攻、急激な円高による物価高騰等々、しかし、我が臥風流は2年間のコロナ禍にも負けずほとんどの行事が再開されました。これも一重にコロナ対応をしていたいただいた役員のおかげです。今年も卯年、うさぎは穏やかで温厚な性質から家内安全。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。臥風流も高齢化の波が来ていますが年齢を気にせず一人ひとりが臥風流を盛り上げ、元気にうさぎに負けないように徳田寿風新会長の下、大きく飛躍しようではありませんか。

普及部部长 玉木 浩風

皆様の情報・ニュースをお待ちしております。



うまくいきませう!! 鍛冶田流風 制作

- 鎌田 延風
- 浅井 辰風
- 片山 延風
- 田辺 辰風
- 松村 清風
- 鵬風
- 延風
- 辰風
- 清風

お問い合わせは行きましよう!